

関係者各位

2020年4月30日

一般財団法人東京アートアクセラレーション設立と
家にいる日々にアートを届ける期間限定のECサイト「ONE ROOM ART」オープンのお知らせ
さらに、2020年秋に六本木にアートスペース「ANB Tokyo」オープン予定

一般財団法人東京アートアクセラレーション（所在地：東京都港区、代表理事：香田哲朗、共同代表：山峰潤也）は、意欲的な表現活動に取り組むアーティストの支援や、アートを通じたコミュニティの形成を通して、文化が息づく社会の新しいエコシステムを醸成していくために設立されました。その最初の取り組みとして、2020年4月30日よりアーティストと家で過ごす人々をつなぐ期間限定のECサイト「ONE ROOM ART」をオープンすることをお知らせいたします。

一般財団法人東京アートアクセラレーションの設立

現代のアーティストの活動は、絵画や彫刻といった伝統的な表現形態から、映像や写真、新たなテクノロジーを使った作品や、社会や人々と関わりながら行われる表現行為など、多岐にわたります。アーティストは鋭く社会を描写し、また人間の機微を描き出していきます。そうして生まれる作品は、時として見るものを圧倒し、またその繊細さが人の心を打ち、社会に新しい気づきをもたらしていきます。それは、合理化や効率化の進む現代社会において、特異点とも言うべき存在です。しかし他方で、その特異性ゆえに、アートを支える基盤は脆弱性をはらんでいます。

こうした状況に対し当財団は、六本木にオープンするコンプレックスビル「ANB Tokyo」を軸に、アーティストの創作活動を支援するとともに、展覧会やトークイベントなどの企画、メンバー向けのコミュニティスペース運営などを行なっていきます。そして、ANB Tokyoを介して構築したネットワークを活かし、アートに対する新たな支持基盤を構築しながら、外部機関と連携したさまざまな事業展開を進めて参ります。これらの活動を通してアートの裾野を広げ、これまでアートを支えてきた方々にとっても意義のある事業となるよう努めて参ります。（ANB Tokyoについてはp.3参照）

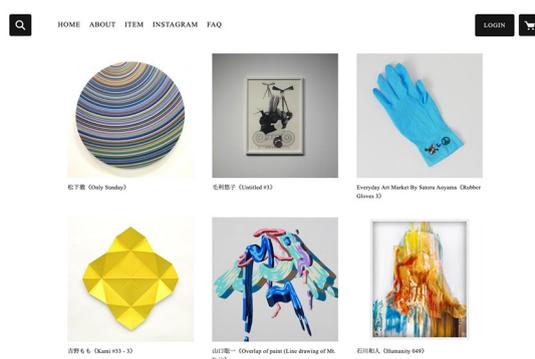
家にいる日々にアートを届ける、期間限定のECサイト「ONE ROOM ART」をスタート

新型コロナウイルスの影響で多くの人が自宅でほとんどの時間を過ごし、オンライン会議の機会も増えるなか、生活空間に彩りを与えるアートを求める声が高まりつつあります。そこで当財団は、“STAY HOME”の時間にアート作品を届ける期間限定のECサイト「ONE ROOM ART」を2020年4月30日よりスタートします。

1RA
ONE ROOM ART

「アートを自宅で楽しむ」ことは、日本ではまだ敷居の高い印象がありますが、欧米では、自宅の装飾や、親しい人へのギフトとしてアートを購入するという文化が広く浸透しています。また社会においてアートが必要不可欠な存在として認識されており、新型コロナウイルスの影響で展示発表の機会を失ったアーティストたちへの支援を積極的に行なっています。他方日本において、新型コロナウイルス影響下におけるアートの現状に対する公的な援助は、残念ながら十分とは言えません。

こうした状況を受け、外出自粛のため居住空間で過ごす人々と、作品発表や販売の機会を失っているアーティストの作品をつなぐことを目的に、本事業はスタートしました。当財団の呼びかけに応じてくれたアーティストやギャラリーと始め、徐々にその輪を広げていながら、アーティストに販路を提供し、アートが広く一般に浸透していく一助となることを目指しています。そして“STAY HOME”の時間が豊かになり、“SAVE THE ART”につながる機運が少しでも高まっていくことを望んでいます。



[ONE ROOM ART サイト参考画像]

① 国内外で活躍するアーティストたちとスタート

海外からも高い評価を受けている青山悟（Everyday Art Market by Satoru Aoyama）や毛利悠子、活動領域を拡張しながら活躍する中崎透や松下徹のほか、現代アートチーム 目[mé]は新潟の三条仏壇 伝統工芸士のコラボレーション作品を出品。さらに、吉野もも、磯村暖、山口聡一、品川はるな、石川和人（2020年4月30日）と、注目の若手アーティストが参加してスタートします。

② 当財団は非営利事業として出品者サポート

アート作品の取引には、数十%の手数料が発生することが通例です。しかし、本企画は作品発表の機会が失われたアーティスト支援を目的とした非営利事業のため、すべての売上は決済手数料等必要経費を除き、全額アーティストまたは所属ギャラリーにお支払いいたします。

③ プライベートな空間にアートを届ける

リビングや書斎、生活空間に飾りやすいサイズやお求めやすい価格の作品を中心に取り揃えます。ペインティングや立体作品など、多様な表現のなかからお気に入りの作品を購入することができます。

④ 期間限定の運営

今後は2週間ごとに、作品を追加していきます。展覧会やイベントの延期・中止によって、アートを鑑賞する機会が失われている現状に寄り添うため、実施期間については、新型コロナウイルスの影響に応じて決定いたします。

期間限定ECサイト：<https://1roomart-taa-fdn.stores.jp/>

Instagram：[@one_room_art](https://www.instagram.com/one_room_art/) (https://www.instagram.com/one_room_art/)

運営：一般財団法人東京アートアクセラレーション

公開期間：2020年4月30日～6月30日（暫定） 2週間ごとに作品追加予定

[出品作品画像参考] サイト内掲載作品画像を広報使用ご希望の際は、下記問い合わせ先までご連絡ください。

		
Everyday Art Market by Satoru Aoyama 《Rubber Gloves 3》 (2020) サイズ：全長24cm 素材：ゴム手袋に刺繍 協力ギャラリー：ミヅマアートギャラリー	毛利悠子《Untitled #3》 (2020) サイズ：H79×W59×D4.5cm (額装込) 素材：シルクスクリーン	山口聡一《Overlap of paint, The color face (yellow)》 (2019) サイズ：H24.2×D41cm 素材：アクリル、ジェッソ、パネル 協力ギャラリー：EUKARYOTE
		
松下徹《Only Sunday》 (2020) サイズ：φ109cm×D3.8cm 素材：キャンバスにアクリル塗装 協力ギャラリー：island JAPAN	石川和人《Humanity 045》 (2019) サイズ：H25.4×W20.3cm 素材：アーカイバルピグメントプリント エディション：5 協力ギャラリー：EUKARYOTE	吉野もも《Kami #58 -bloom-》 (2019) サイズ：H85×W85cm 素材：アクリル、パネル 協力ギャラリー：rin art association

六本木にできる新たなアートスペース 「ANB Tokyo」

当財団の理念を表現するプラットフォームとして、ブックラウンジやギャラリー、スタジオなどが入った新しいコンプレクスビル「ANB Tokyo」を、多くのギャラリーや美術館が並ぶ六本木にオープンします。名前の由来は、既存の概念とは異なる何かを示す“Alternative”と、多様なものを受け入れる“Box”からきています。さらにはこの箱の中に、無数の物語“Narrative”が詰まっていくことを期待してスタートします。

ANB Tokyoは、コンプレクスとしての複合性を活かしたさまざまな人々が出会う拠点となるとともに、これまでアートが培ってきた蓄積と文脈への理解を深め、共有していく活動を行なっていきます。世代や分野を超えたコミュニケーションから独自のネットワーク構築し、そこから生み出される可能性を開拓しながら、新しいアートと社会の接続点となることを目指していきます。

2020年秋オープンを目指し準備を進めておりますが、今後の新型コロナウイルスの影響を踏まえ、オープン時期を確定し、あらためて詳細をご案内させていただきます。

<財団概要>

TAA

TOKYO ART ACCELERATION

名称 : 一般財団法人東京アートアクセレーション

設立日 : 令和元年11月26日

所在地 : 東京都港区六本木5-2-4 ANB Tokyo

代表理事 : 香田哲朗

共同代表 : 山峰潤也

WEB : <https://taa-fdn.org>

問い合わせ先 : admin@taa-fdn.org